

2013

神戸学院大学

Green Festival

第344回 10月20日(日) 14:00 開演(開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学管弦楽団 第19回定期演奏会

指揮/松井隆司

第345回 10月24日(木) 17:00 開演(開演時刻にご注意ください)

● 女が演じる男と女

—宝塚歌劇100年、OGによるレクチャー&コンサート—

出演/瀬戸内美八 東千晃

第346回 10月26日(土) 15:00 開演

● 長谷川陽子(チェロ) デュオの午後
● 山田武彦(ピアノ)

第347回 11月16日(土) 15:00 開演

● 仲道郁代 ピアノ・リサイタル

第348回 11月21日(木) 15:00 開演

● 復活「学院寄席」! —上方落語でお腹の底から大笑い—

出演/桂坊枝 桂三ノ助 桂三弥 三味線/はやしや美紀

会場/神戸学院大学ポートアイランドキャンパスA号館6階大会議室(会場にご注意ください)

第349回 11月23日(土) 18:00 開演(開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学チアリーダー部 SEAGULLS
第21回 Dancing EXPO 2013.

第350回 12月15日(日) 14:30 開演(開演時刻にご注意ください)

● 神戸学院大学学生放送局 第36回放送祭『LEGEND』

第351回 12月16日(月) 15:00 開演(開演曜日にご注意ください)

● ミハル・カニユカ(チェロ) デュオの午後
● 伊藤ルミ(ピアノ)

入場無料

会場/神戸学院大学有瀬キャンパス メモリアルホール(9号館6階)

主催/神戸学院大学 後援/兵庫県、(公財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元氣文化圏

● お申込方法

- 往復ハガキを使用してください。私製ハガキや2枚のハガキの貼り合わせは避けてください。申込者多数の場合は抽選になります。
- ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
 - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
 - ・ 返信裏面は空白のままをお願いします。
 - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
 - ・ 受付期間は各公演の1ヶ月前~2週間前(必着)です。
 - ・ (※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日・休日の場合は翌日)
 - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

〜個人情報取扱について〜

入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込状況の統計分析に限って使用します。

● お申し込み・お問い合わせ先

〒650-8586 (この郵便番号を使うと住所は省略できます)

神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-6105(担当部署:社会連携グループ)

● 交通経路と所要時間

有瀬キャンパス

- ①JR「明石駅」より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約20分)
 - ②神戸市営地下鉄「伊川谷駅」より神姫バス「神戸学院大学経由明石駅行」に乗車(約10分)
 - ③JR「朝霧駅」より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約10分) <(注)運行本数少>
- ポートアイランドキャンパス(11月21日のみ)
JR神戸線「三ノ宮駅」、阪急・阪神・神戸市営地下鉄「三宮駅」から神戸新交通ポートライナー「みなとじま駅」下車、西へ徒歩約6分。

公共交通機関をご利用ください。お車でのご来場は固くお断りいたします。

神戸学院大学 <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

関西から



ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に一流の舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各5～9回の公演を無料で提供しています。西欧のクラシック音楽、多種多様な演劇、ダンスなどを中心に国内外のアーティストを招き、非常にレベルの高い、また一般の催しとは一味違う公演を企画しており、その独自性が高く評価されています。その一方で、本学学生団体の日頃の成果もみなさまに披露させていただいています。

神戸学院大学管弦楽団 第19回定期演奏会

指揮/松井隆司

- 曲目 ● J.シベリウス …… 交響詩「フィンランディア」 ● J.ブラームス …… 交響曲第1番 ハ短調 作品68
● J.シベリウス …… 「美しい組曲」

ブラームスの「交響曲第1番」は着想から完成までに21年の歳月がかかり、その間に何度も厳しい推敲が重ねられて完成しました。そして、指揮者のハンス・フォン・ビューローから「ベートーヴェンの交響曲第10番」と呼ばれ高く評価されました。「フィンランディア」は、シベリウスが作曲した作品の中でもっとも知名度が高い作品です。この曲が作曲された1899年当時、フィンランド大公国は帝政ロシアの圧政に苦しめられており、独立運動が起こっていました。また、シベリウス自身によって合唱用に編曲され、国歌に次ぐ第二の愛国歌として親しまれています。同じくシベリウスが作曲した「美しい組曲」は弦楽器五部とフルートで構成されています。

女が演じる男と女

— 宝塚歌劇100年、OGによるレクチャー&コンサート —

出演/瀬戸内美八 東千晃

2014年、宝塚歌劇は100周年を迎えます。今回は、1983年まで星組トップスターを務められた瀬戸内美八さんと、その相手役を務め1982年に退団された東千晃さんをお迎えします。女性だけで演じること、レビューと呼ばれるショーを上演し、エンターテインメント性の高い舞台芸術として確立していること、世界の名作を翻案輸入しつつ日本の伝統も重視していること、といった宝塚歌劇の魅力や踏まえ、宝塚退団後のエピソードなどもまじえつつ、男役、娘役の魅力と苦心に迫ります。後半は、お二人の魅力たっぷりのステージをお楽しみいただきます。ちょっとゴージャスな秋の夕べをお過ごしください。

長谷川陽子 山田武彦 デュオの午後

- 曲目 ● プロコフィエフ … チェロとピアノのためのソナタ ハ長調 作品119 ● ピアッティ …… パチーニの歌劇《ニオベ》の主題によるカプリッチョ 無伴奏チェロ
● ファリャ …… スペイン民謡組曲 ● R.シュトラウス … チェロとピアノのためのソナタ ヘ長調 作品6

レジデント・アーティストとして27回目の登場の陽子さんの今回のお相手は初お目見得の山田さん。今回もチェロの名曲がズラリと並びました。4曲のうち3曲までは再演ものですが、19世紀末から20世紀にかけてのチェロ曲の名作であるプロコフィエフとR.シュトラウスはそれぞれ2003年と2004年の演奏でしたから、久しぶりということになります。気魄のこもった演奏をご期待ください。

仲道郁代 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ● モーツァルト … ピアノソナタ 第3番 変ロ長調 K.281 ● シューマン … 交響的練習曲 作品13
● ショパン …… バラード全4曲 (第1番 短調 作品23 / 第2番 ヘ長調 作品38 / 第3番 変イ長調 作品47 / 第4番 ヘ短調 作品52)
● ブラームス …… 3つの間奏曲 作品117

レジデント・アーティストとして29回目の登場の郁代さんの今回のプログラムは皆様からのリクエストも多いショパンのバラード全曲を後半に置いたもの。モーツァルトは連続演奏のときに、バラードの第1番は2002年に演奏されていますが、あとの曲はグリーンフェスティバルでは彼女が初めて披露される曲です。詩情豊かなピアノをどうぞお楽しみください。

復活「学院寄席」！ — 上方落語でお腹の底から大笑い —

出演/桂坊枝 桂三ノ助 桂三弥 三味線/はやしや美紀

かつて神戸学院大学には落語研究会「落語学院」があり、学内はもとより兵庫県庁地下の県民小劇場での「元町迷人会」や他大学の学祭への賛助出演など学外活動も活発に行っていました。そしてその「落語学院」から何人ものプロの落語家が巣立っていきました。今回は、その本学卒業の落語家さんと寄席三味線演奏家の皆さんに集まっていたの落語会「学院寄席」を開催します。あわせてふだんは「下座」といわれる寄席の「縁の下」の力持ちの鳴り物さんに高座に上がって演奏と解説をしていただきます。寒い冬を前に、生のお囃子で上方落語の楽しい魅力に触れ、お腹の底から大笑いしてください。

神戸学院大学チアリーダー部 SEAGULLS 第21回 Dancing EXPO 2013

I部 Welcome ステージ II部 企画ステージ III部 Cheerステージ

今年で21回目を迎えるDancing EXPO。今年は「Challenge!!」をテーマに、チアはもちろんジャズダンスやヒップホップなど、様々なSEAGULLSをご披露するため、日々練習に励んでいます。是非足をお運びください。

神戸学院大学学生放送局 第36回放送祭『LEGEND』

第36回放送祭テーマはLEGENDです。我ら学生放送局からいったいどんなLEGENDが生まれるのでしょうか。乞うご期待。局員一同、みなさまのお越しをお待ちしております。

ミハル・カニユカ 伊藤ルミ デュオの午後

- 曲目 ● フォーレ …… エレジー 作品24 ● サン＝サーンス … チェロとピアノのためのソナタ 第1番 ハ短調 作品32
● イトウ・ユミ … 日本のうたによるコラージュ <新作・初演> ● フランク …… チェロとピアノのためのソナタ イ長調

伊藤さんはチェコのすぐれた弦楽器奏者とデュオを組まれて、毎年彼らの名演を日本のファンに紹介しておられますが、グリーンフェスティバルでは2009年にご紹介したヴァイオリンのノヴォトニー氏に続き、今回はチェロのカニユカ氏とのデュオでフランスものの名曲をお届けします。ブラジャーク弦楽四重奏団の一員でもあるカニユカ氏はチェコ・フィルやバイエルン放送響といった名門オーケストラと度々共演する名手。従来使用の1741年製テストーレに代えて、フランスのペイヨンがテストーレをモデルに製作した楽器を携えての登場です。

出演者の希望で曲目が変更されることがあります。ご了承ください。